

たろぎ 議会だより

No.112

令和元年7月25日
熊本県多良木町議会発行

6月定例会議

正副議長挨拶・議会構成・・・P2～3

議員税等納付状況・・・P6

3人が問う・・・P7～9

議員研修・視察・・・P11

真っ直ぐってむずかしい！

(町内小学5年生 農業体験)

たな議会構成でスタート!



住民主体の町づくりを

議長 高橋 裕子

この度、議員の皆さま方のご推挙を頂き、町議会第18代議長の要職に就任させて頂いたことは身に余る光栄でありその重責に身の引き締まる思いです。加えまして、町史初めての女性議長としてのご推挙に対しましては、住民の皆さま、議員の皆さまの深いご理解と男女同権の認識の高さに衷心より感謝申し上げます。

私は「住民主体の町づくり」を掲げてきております。これからも真摯に住民と向き合い、意見をくみ上げながら政策に反映していく中において、議会と執行部が「対立」という構図ではなく積極的協議を軸に「両輪」となつての町づくりを目指していく所存です。今後更に町全体が心を一つにし実効性のある施策に取り組んでいく事が必要と考えます。

住民の皆さまにおかれましては、この「議会だより」をしっかりと読んで頂きまして、議会で協議している「正しい情報」を持つての町政に対するご理解・ご協力・ご意見を切にお願い申し上げます。

結びになりますが、私は身を挺して今回のご厚情に報いるよう覚悟を新たにしております。重ねてご支援ご協力を申し上げまして就任のご挨拶とさせていただきます。



更なる議会活性化に向け!!「迅速果断」

副議長 中村 正徳

町民の皆さまにおかれましては、日頃から町議会活動に対し深いご理解とご協力を頂き感謝申し上げます。

今般の町議会選挙後の初議会におきまして副議長選挙が行われ、議員の皆さま方のご支持を頂き、副議長の要職に就任させていただく事になりました。身に余る光栄と感謝を申し上げますと共に、浅学菲才の身ではありますが、議会制民主主義のもと合議制を目指し、中立・公正を旨として「是々非々」の立場で職責を全う致したいと思ひます。

さて、これまで町議会におきましては、議会活性化特別委員会を設置し議会活性化に取り組んでまいりましたが、更なる議会活性化に向け議会運営委員会・各常任委員会活動をより加速化・充実させ、山積みする諸問題に対し物事を素早く決断・決行する「迅速果断」に対応していきたいと思ひます。

また、多良木町議会におきましては、初めての女性議長の誕生でございまして、これまでとは違った視線で、しなやかできめ細やかな感性で議会運営に臨まれるものと大いに期待を致しております。「更なる議会活性化のため」今後とも町民の皆さま方のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。就任のご挨拶と致します。



令和元年女性議長誕生・新



坂口 幸法



林田 俊策

新メンバーです
よろしくお願いします！



豊永 好人



源嶋 たまみ



魚住 憲一



村山 昇



落合 健治



猪原 清



宇佐 信行



久保田 武治

厚生環境文教 常任委員会			
委員長	林田 俊策	副委員長	豊永 好人
委員	高橋 裕子	委員	坂口 幸法
		委員	久保田武治
		委員	落合 健治

総務産業 常任委員会			
委員長	宇佐 信行	副委員長	源嶋たまみ
委員	中村 正徳	委員	村山 昇
		委員	魚住 憲一
		委員	猪原 清

議会広報調査対策 特別委員会			
委員長	林田 俊策	副委員長	源嶋たまみ
委員	中村 正徳	委員	坂口 幸法
		委員	猪原 清
		委員	落合 健治

議会運営 委員会			
委員長	村山 昇	副委員長	林田 俊策
委員	源嶋たまみ	委員	豊永 好人
		委員	宇佐 信行
		委員	落合 健治

所属一部事務組合議会等名	議 員 名				
球磨郡公立多良木病院企業団議会	中村 正徳	林田 俊策	源嶋たまみ	豊永 好人	久保田武治
人吉球磨広域行政組合議会	村山 昇	魚住 憲一	落合 健治		
上 球 磨 消 防 組 合 議 会	宇佐 信行	猪原 清			
監 査 委 員	坂口 幸法				

一般会計補正は歳入・歳出それぞれ 7,514万6千円を追加し予算総額 68億7,714万6千円とした。

歳出予算の主なもの

中小企業振興補助 1,350 万円

(条例に基づく(株)ナビックへの機械導入補助)

歴史回廊たらぎ交流促進事業委託料 865 万円

(史跡に関する調査・観光ルートパンフ作成等)

観光拠点施設工事 750 万円

(久米・堂山地区)



整備された旧高本邸跡

堆肥センター管理費 323 万円

(ホイールローダー修理・リース料)



修理を要するホイールローダー

造林費 1,072万円

(屋敷・笹の谷町有林主伐事業)

農地費 303 万円

(農業土木費)

下迫田県舎解体工事 214 万円

(3棟)



解体予定の県舎

令和元年6月定例会議は5日から11日までとし報告・同文議決各1件・条例等4件・補正予算2件・人事案件4件・議員発議2件を審議可決し、要望書2件を採択とした。一般質問は3人の議員が執行部を質した。

下水道事業特別会計は、

348万3千円を追加し、総額2億8,755万7千円とした。

翌年度繰越

繰越総額 2億5,928万3千円

※工期の変更や事業の見直し等で翌年度へ繰越となった

会計年度任用職員制度
例規整備等支援事業 … 129万6千円

公共施設予約システム
機能設定事業 … 248万6千円

(※)
家屋解体事業 … 219万3千円

(※)
空き店舗等活用事業 … 100万円

住宅建設事業 … 3,730万8千円



口の坪団地棟上げ

口の坪覚井線整備事業 … 1,445万円



見通しの悪い道路

集落道路整備事業 … 2,888万円

社交金道路事業 … 3,124万7千円

(※)
農業用施設災害復旧事業 … 504万円

林業用施設災害復旧事業 … 3,944万3千円

公共土木施設災害復旧事業 … 9,594万円

(※)は6月現在完了している事業。

皆さんからの要望書

付託委員会 厚生環境文教常任委員会

(仮称)第三多良木地区基盤 整備事業の新規採択について

幸野溝及び百太郎溝
関係の用排水施設が
経年劣化の現状で国・
県・町・町議会の連
携協力による事業の
推進を望む内容。



老朽化した水路

要 望 者

幸野溝土地改良区 理事長 宮原 辰紀
百太郎溝土地改良区 理事長 岡村 文明

採 択 理 由

事業の重要性と現地視察において経年劣化
の現状を鑑み採択とした。

道路改良に関する 要望書について

町道九鹿馬門線の一
部が狭隘な生活道路
であり、緊急車両等
の進入も困難である
ので、火災や急病等
に対する不安解消とし
ての道路改良を望む
内容。



狭くゆとりのない道路

要 望 者

藏本 春実 外 21 名

採 択 理 由

住民の火災や急病等に対する不安解消とし
ての生活道路整備という観点から要望書を
採択した。

人事案件

両委員とも任期満了に伴い再任することに同意した。

■情報公開等審査会委員

合志 洋一氏 吉村 悦氏

又江原 進氏 松崎 信幸氏

岩崎 康子氏 田中 民子氏

岸川 幸江氏 奥村 高史氏

■人権擁護委員

黒木 亮平氏

川邊 一教氏

北川 かほり氏

議員発議 2件

町議会会議規則の一部を改正する規則を定めることについて

提出者 議会運営委員長 村山 昇

白票の取り扱いについて「無効」から「否」とし標準町村議会会議規則と照らして、字句の整理が必要な部分を改正した。

新たな過疎対策法の制定に関する意見書提出について

提出者 総務産業常任委員会 委員長 宇佐 信行

現行の「過疎地域自立促進特別措置法」は令和3年3月に失効するが、今後とも過疎地域を支援・充実・強化していくことが重要であり全県下の町村議会と共に国に「意見書」を提出することとした。

平成30年度分 町議会議員の税等納付状況

多良木町議会議員政治倫理条例により、町議会議員の税等の納付状況を公表します。

令和元年5月31日現在

氏名	町民税	固定資産税	軽自動車税	国民健康保険税	後期高齢者医療保険料	介護保険料	保育料	水道料金	下水道使用料	下水道事業受益者負担金	町営住宅家賃
高橋 裕子	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
中村 正徳	○	○	—	○	—	○	—	—	—	—	—
林田 俊策	○	—	○	○	—	○	—	○	—	○	—
坂口 幸法	○	○	○	○	—	—	—	○	○	—	—
村山 昇	○	○	○	○	—	○	—	○	○	○	—
魚住 憲一	○	○	○	○	—	—	—	○	○	○	—
源嶋 たまみ	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
豊永 好人	○	○	○	○	—	—	—	○	○	○	—
久保田 武治	○	○	○	○	—	○	—	○	—	—	—
宇佐 信行	○	○	○	○	—	○	—	○	○	○	—
猪原 清	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—
落合 健治	○	○	○	—	—	—	—	○	○	○	—

○・・・当該年度に納付すべき額がすべて納付されている場合 ×・・・当該年度に納付すべき額に未納がある場合 —・・・本人に納付義務がない場合

村山 昇 議員



質問 閉校後の校舎周りや運動場・野球場等、雑草が繁茂しているが管理はどうなっているのか。また、町として除草等管理に協力する考えは。

前田総務課長 県有財産として球磨支援学校が管理を行っている。

Q 高校跡地の管理は

A 支援学校が管理



グラウンド周辺の雑草

町長 グラウンドの除草作業については、町も県と協力して整備を行っていただと思う。

質問 野球場・体育館等施設の利用について、県と協議する考えはないか。

町長 グラウンドについては県に申し入れれば使えると思う。他の施設等についても使用出来るように県に申し入れをしていきたい。

Q 町民集会場は

A 現状のままで

質問 町民広場集会場は解体を計画していたが、歴史的文化遺産建造物としての要望書が出され、採択されている建物である。そこで、改築計画並びに使用については。

今井教育振興課長 現在は少年剣道が使用している。特別な改築計画がない限り



町民広場集会場

《その他の質問》
町有財産等の管理は

は現状のまま使用したい。

Q 中学校の改築事業は

A 早急に県と協議

質問 支援学校と中学校の整備の方向性は具体的な目標として町と県はどう考えているのか。

町長 ①障がいを持った子どもたちと中学生の交流を図る。②閉校した高校の敷地と面影を保存したいと県も町も考えている。③地域の賑わい創出という、以上

三点を方向性として考えている。

質問 町は今回、基本構想の予算計上を取り下げたが、今後中学校の新設はどのような形で進んでいくのか。

町長 基本的に高校跡地に中学校新設移転の立場は変わらないことから、県と一緒に基本構想の策定に向けて

て早急に協議を進めていきたい。

質問 高校跡地に支援学校と中学校が併設されることになるが町長・教育長のこの考えは今後変わることはないのか。

町長 高校跡地に中学校新設移転するのが一番いい方法だと考えているので、変わらない。

教育長 一日も早く中学校を新設移転し、子どもたちに快適な学習をさせたい。

猪原 清 議員



Q 高校跡地に 防災・運動公園を

A 跡地には考えていない

することと進めている。「防災運動公園等」は今のところ計画していない。

町長 高校の跡地には支援学校の全学部移転と中学校の新設について町と協議を続けていくという県の機関決定が出されている。今後調査検討を行うことは考えていない。

質問 他の場所に400mトラックを整備し、「防災・運動公園」化することにより、各種スポーツ団体の合宿や試合を誘致し、上中球磨全体の活性化につなげる考えはないか。

前田総務課長 大型施設については県営・町営含めて基本計画・実施計画、財源等の裏付けが必要と考える。

町長 大きな予算が必要だと思うが、上球磨の活性化にはつながる。財政状況と相談しながら、まずは議員、町民と議論をしていきたい。

質問 多良木高校跡地に400mトラックを整備し「防災・運動公園」に調査検討する考えは。

前田総務課長 高校跡地は県の施設であり、町では高校跡地に中学校を新築移転

質問 「防災・運動公園」は町民グラウンド・中学校周辺に造成可能か。

前田総務課長 球磨川から近い位置なので防災上かさ上げ等も必要になると思うが、実際には専門的な調査が前提になる。

質問 高校跡地活用方策に対する意見聴取のための説明会や討論会を開催する意向は。

町長 説明会については、6月中に行政座談会と一緒に、久米・多良木・黒肥地で行いたい。

Q 子育て支援策の拡充は

A 給食費無料化は困難
他は検討していく

質問 学校給食無料化や子育て支援住宅等の整備は。

今井教育振興課長 給食費は半額助成にしている。無料化は、現在より約1千500万円増になる。

久保環境整備課長 支援住宅等は需要調査を行い、民間資金活用導入推進事業を参考に、整備計画を予定し

ている。

質問 「病児・病後児保育施設」の受け入れ定員の増は。小田子ども対策課長 今後

公立病院と4か町村でこの制度の周知方法の検討と利用者増を図っていく、その結果利用者増につながれば「定員増」の協議をしたい。

Q 学童交通安全対策は

A 安全プログラムを制定

質問 高齢者ドライバーによる事故対策は。

今井教育振興課長 直接対応した取り組みはないが、

ハード面については関係機関と協議をして「町の交通安全プログラム」を制定し、

合同点検を実施、改善する。



引率され登校する児童

《その他の質問》
町民サービスの向上策は

久保田 武治 議員



質問 国保税は全国で滞納世帯が289万世帯、差し押さえが33万世帯の993億円に達している。

Q 国保税・均等割の減免はできないか

A 時期をおいて検討

無保険になり死亡した事例もある。町内でも「高すぎる」と多くの声を聴くが、軽減できないか。

町長 安いとは思わないが低所得者には軽減措置がある。

質問 本町の国保加入世帯、加入者及び滞納世帯、滞納額、短期被保険者証の交付世帯数は。

東健康・保険課長 5月末現在では、次のようになっている。

加入世帯	1,576世帯
滞納世帯	145世帯
滞納額	1億50万円
短期被保険者証発行	46世帯69名

質問 国保税の負担軽減のため、子どもに均等割分を減免する自治体がある。本町で18歳以下の均等割を免除した場合、該当者数と必要額は。

東健康・保険課長 4月1日現在で266名。全額免除には約700万円が必要である。

質問 芦北町では「子育て支援策として実施する」予定だが、本町では。

町長 税の公平性の事もあるので、期間をおいて検討したい。

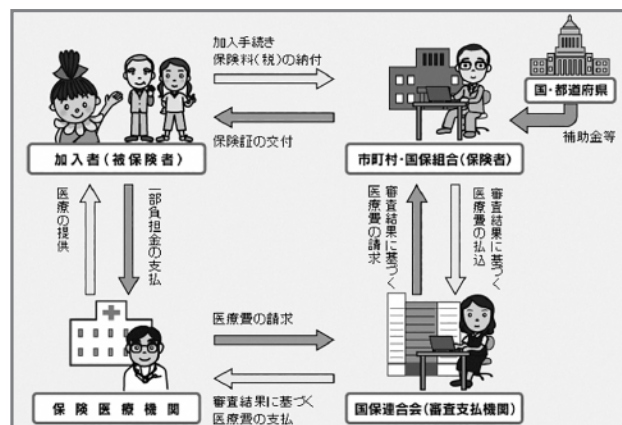
質問 昨年度、本町では約9割の加入者の国保税が下がった。同時に繰入金の

2千万円をやめたが、繰入金金の検討は。

町長 担当課長と協議はしたが、厚労省の繰り入れは好ましくないとこの見解にしたがった。



国民健康保険運営のしくみ



福岡県国民健康保険団体連合会ホームページより抜粋

Q 介護保険料 さらに引き下げを

A 町独自では難しい

質問 介護保険料は所得の最も低い第1段階から第3段階までの軽減がなされたが、対象者数、引き下げ額は総額でいくらか。

東健康・保険課長 見込み数で1,415名が対象になり、総額で1千163万2千500円となっている。

質問 今回引き下げ財源が消費税になっている。保険料の引き下げは。

東健康・保険課長 国の制度なので確としたことは言えないが、すでに補助金の申請は行なっている。

質問 本人が住民税非課税の第4・5段階にも保険料負担を軽減できないか。

町長 町独自では難しい。

《その他の質問》

①町の性的マイノリティ対策は

②町政座談会で意見集約を

上京
陳情

町の声が届きました！



県選出国會議員である、金子恭之衆議院議員、松村祥史参議院議員、馬場成志参議院議員への陳情を行った。

今回の陳情は、現在町が抱える課題（未改良区間が多く残る地方道整備・基盤整備が遅れている球磨川北部地域の農業体質強化・基幹産業である農業経営所得の確保及び林業振興と防災のための治山事業の推進と有害鳥獣による農林業への被害防止等）に対する予算の確保が目的であり、町の喫緊の課題に対し、現地を見て、目に見えるスピード感のある国の支援を要望した。

意見交換時、『「防災・減災」を目的に据えた要望となると予算確保のハードルも低くなる』『参議院選挙終了後の早い時期にぜひ、現地を訪問したい』と前向きで真剣な回答をいただいた。

文責 猪原 清

懇談
会等

「中学校移転予算」取り下げは



5月の全員協議会において6月議会に上程される主な補正予算等の説明が行なわれた。その中で教育振興課より「中学校移転」に伴う予算説明があり、建設検討委員会・基本構想策定委託料等の説明が行なわれた。

6月5日会期初日の議案説明終了後、各常任委員会の審議に移り、今回の「中学校移転」に伴う関連予算について、会期中に議員間での協議・論議をすべきとの声が上がリ、「議員懇談会」を10日に急遽開催した。

平成30年12月議会において当時支援学校の保護者からの高等部のみの移転に関する問題点や本町の中学校の移転に対する町民の一定程度の合意形成をもっと図るべきであり、球磨人吉の活性化の中で利活用を幅広く論議すべきと議会の意思決定をしてきた。

また、今回「移転関連予算」に対する十分な説明が欲しいことと、町が町民に対し近日中に説明会を開くとのことでその後、状況を見極めて再度協議・論議すべきとの議会の意向を受け、今回町執行部は自ら「中学校移転関連予算」を取り下げ、その後町は6月末に町民説明会を3ヶ所で行った。

文責 林田 俊策

議員
研修

想いも新たに議員研修

新しい議会メンバーと共に「第一法規株式会社」の鳴瀬氏を迎え議員研修会を行なった。

一番目に「法体系」の基本的な学習「憲法」を頂点とし国の機関が法律や法令等また地方公共団体の条例や規則がどのような関係性のもとに成り立ち「社会ルール」が明文化されているのかを再認識することが出来た。

二番目は事例に基づくコンプライアンス（法令遵守）というテーマで「自治体議員の仕事と責任」について議員の仕事は「住民の未来を描き、語る」ことである。町の「議会基本条例」・「町議会会議規則」での議員の「すべきこと・なすべきこと」を考え「住民に選ばれた住民」の自覚と^{きょうじ}矜持を忘れぬことが住民の信頼を作り上げてくることにつながるとの成果を得た。

文責 林田 俊策



研修する議員たち

視察
研修

視察に行ってきました！ 視察研修 in 東京

■地方とのかけ橋・東京事務所

熊本東京事務所（銀座熊本館）の活動内容は、
①TV・新聞・ラジオへの情報提供②広報強化事業
③くまモンイベントの開催④農林水産物の情報収集・提供・販売で、町との連携内容は、産業・人材育成等の提案と連携の両面で活動中。まさにアンテナショップ！物販だけでなく情報の収集・解析・発信と多種多様で本町に必要な人材育成のヒントを得た研修であった。



県産品が並ぶアンテナショップ

■奥多摩町改革に学ぶ！

人口 5233 人、世帯数 2676、高齢化率 49.1% と約半数が高齢者の深緑豊かな町の取り組みを研修した。①町の組織機構改革（職員の意識改革、仕事の量から質への転換、人事評価制度の取り組み）②定住への取り組み（若者定住補助金、空き家バンク紹介、子育て支援）③広報・広聴の充実と住民参加の促進④指定管理者制度（民間活力を活かした行政運営）など、本町と外観を含め似た所が多くみられた奥多摩町でしたが、定住支援策や機構改革は一步前をゆく自治体だった。ながく定住したいと思える町づくりの参考となった。

文責 落合 健治



改革への取り組みが進む奥多摩町



豆ちしき



多良男

いよいよ議会も新しゅーなって、
始まったばいナー

今まであんたに色々聞いてきたばってん、
おら1回も傍聴にいたことなかったい。
議会傍聴はどぎゃんすつとな

議会傍聴はどぎゃんすつとな

新人も二人入って頑張ってもらわんばンナー

いやー、敷居のたっかごたっでイヤばい。
ぴしゃっとした格好で
印鑑なんかば持って行かんばんちゃろ。

あらー、そぎゃんナ、そらー1回行ってきない。

ばってん、色々決まりはあつとじゃろ？

あー、下駄やサンダルはいけんばってん、
普段着でよかとばい。
印鑑てろいらんし、役場の3階に議会事務局の
あつてそこで名前ば書くくらいばい。

ははは、おいがかあちゃんの前に
おっときんどとしとけばよかつたい。

そらー焼酎飲んで太か声で騒いだり、
帽子かぶったり、飲み食いは出来んばってん
人に邪魔にならんごと、
静かに聴いとけばよかとたい。

おもしろかごたっで、みんなで見に行くバイ
付き合うてくだいな。

じゃつたい、なん様一回行ってきない、
わからんことは係りのおいやっで
そん人に聞けばよかで。



球磨雄

編集後記

あたらしいスタートにはワクワク感と共に不安感もある。新人議員二人も入り、記事の担当分担をおこなった。まずまずの合格点と委員長の上から目線」でほめてやりたいと思います。

今回も「豆ちしき」は私の担当で「傍聴」について書かせていただいた。新人が「傍聴」するにしても「わかりにくかった」とのことを受け「なるほど」と古参の議員たちも認識を新たにすることが出来た。

議員にとっては「当たり前」のことが町民にとっては「当たり前ではない」事がある。その町民感覚の大切さを意識しながら「自己検証」を行なうことが大切であるということを新人議員から教わった。頑張らなければ。
(文責 林田)



広報特別委員会構成

◎林田 俊策 中村 正徳
○源嶋たまみ 坂口 幸法
猪原 清 落合 健治